

2021年春期(第168回)講演大会記録

2021年春期講演大会は、3月16日(火)から19日(金)の間、オンライン(Zoom)で開催した。

- 3月16日(火) 10:00~16:15 第36回ポスターセッション,
第5回高校生・高専学生ポ
スターセッション
18:30~20:30 オンライン懇親会
- 3月17日(水) 9:00~9:05 開催の辞
9:05~10:05 第66回学会賞受賞記念講演
10:20~11:20 第66回本多記念講演
12:00~12:40 第11回技術セミナー
13:00~14:40 第1回R&Dセミナー
13:00~17:00 一般講演, 各種シンポジウム講
演, 受賞講演
- 3月18日(木) 9:00~17:05 一般講演, 各種シンポジウム講
演, 受賞講演, 共同セッショ
ン, 技術セミナー, R&Dセミ
ナー
- 3月19日(金) 9:00~16:45 一般講演, 各種シンポジウム講
演, 受賞講演, 共同セッショ
ン, 技術セミナー
常時開設 オンライン展示会

開催にあたって(3月17日)

高梨弘毅会長より春期講演大会オンライン開催にあたっての挨拶があった。

第66回学会賞受賞記念講演(3月17日)

「高力学的生体適合性金属系バイオマテリアルのさらなる展開」 大阪大学特任教授, 東北大学名誉教授 新家光雄 君

第66回本多記念講演(3月17日)

「金属間化合物を利用した高温構造材料の状態図に基づいた組織設計指導原理と結晶粒界の役割」

東京工業大学教授 竹山雅夫 君

贈呈式 オンライン開催のため下記授賞の贈呈式は開催しなかった。

第66回学会賞 1名(受賞者; 本誌254頁)

第62回技術賞 3名(受賞者; 本誌255頁)

第71回金属組織写真賞 最優秀賞1件, 優秀賞2件(受賞者; 本誌256頁)

第52回研究技能功労賞 10名(受賞者; 本誌258頁)

第79回功績賞 6名(学術部門5名, 技術部門1名)(受賞者; 本誌260頁)

第60回谷川・ハリス賞 2名(受賞者; 本誌261頁)

第27回増本量賞 1名(受賞者; 本誌261頁)

新名誉員推薦者 2名(受賞者; 本誌262頁)

第4回フェロー認定者 2名(受賞者; 本誌263頁)

オンライン懇親会(オンライン会議ツール Remo 使用)

日時 3月16日(火)18:30~20:30

参加者 64名

開会の辞 日本金属学会会長 東北大学教授 高梨弘毅
歎 談

優秀ポスター賞授賞者発表

講演大会委員会委員長 東京大学教授 御手洗容子

懇 談

開会の辞 日本金属学会副会長 東京大学教授 森田一樹

大会参加者

1,217名(一般676名 学生334名 非会員60名(一般34名 学生26名), 協賛学協会参加者19名, 名誉員・65歳以上62名, 非会員基調講演者21名, 高校生ポスター参加者12名, オンライン展示企業・技術セミナー・R&Dセミナー企業14名)
※オンライン開催のため日本鉄鋼協会との相互聴講は実施しなかった。

※前大会より3月1日時点で65歳の会員は参加費無料とした。

学術講演会(3月17日~19日)

最終講演件数632件

欠講1件(講演番号: 一般講演 No.289)

第66回学会賞記念講演1題

第66回本多記念講演1題

公募シンポジウム講演7テーマ142題

企画シンポジウム2テーマ 15題

一般講演321題(功績賞受賞記念講演6題, 谷川・ハリス賞受賞講演2題, 増本量賞受賞記念講演1題, 技術賞受賞記念講演3題, 招待講演2題含む)

共同セッション10題

ポスターセッション105題

高校生ポスター 24題

講演会場 15会場(A~O会場)

第36回ポスターセッション(3月16日)

第1部 10:00~11:30

第2部 13:00~14:30

105件のポスター発表を2部制の時間帯に分けて行い, 優秀ポスター賞審査対象となっている95件の内容・発表についてオンラインにより審査が行われた。ポスターは事前に発表者から提出されたポスター画像をポスター掲示システム上に掲載し, 当日はポスターの閲覧をし, 各講演ルームへ訪れた聴講者に発表を行った。

3月16日「優秀ポスター賞」30名が決定し, オンライン懇親会にて受賞者を発表するとともに3月17日に受賞者を本会春期講演大会公開プログラムサイトに掲載した。

第5回高校生ポスターセッション(3月16日) 14:45~16:15
24件の高校生・高専学生(3年生以下)ポスター発表は同時に審査も行われた。審査結果は3月16日に最優秀賞2件、優秀賞12件が決定し、3月17日に受賞者を本会春期講演大会公開プログラムサイトに掲載した。

オンラインによる発表でありながらも、しっかりとした研究内容の発表がなされており、審査員や聴講者は興味深く質疑する様子が見受けられ、盛況であった。ポスターセッションと同様、事前に発表者から提出されたポスター画像をポスター掲示システム上に掲載した。

金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」7題(金属3題、鉄鋼4題)は3月19日に金属学会G会場で開催した。

「超微細粒組織制御の基礎」6題(金属4題、鉄鋼2題)は3月18日に鉄鋼協会12会場(オンライン会議ツールWebex利用)で開催した。

「高温熔融体の物理化学的性質」10題(金属3題、鉄鋼7題)は3月18日に金属学会L会場で開催した。

オンライン機器・カタログ等展示会(第49回)

機器展示8社の出展の協力を得た。各社のご厚意に感謝いたします。

第11回技術セミナー(現地開催時の名称：企業ランチョンセミナー)

(3月17日~19日)

講演大会参加者に最新の技術情報を聴講いただく、企業セミナーを開催した。

以下の企業がオンライン会場で40分程度のセミナーを行った。

(参加企業・団体)

3/17(水)

- オックスフォード・インストゥルメンツ㈱

3/18(木)

- アドバンスソフト㈱
- 新興精機

3/19(金)

- アドバンスソフト㈱

第1回R&Dセミナー(3月17日~18日)

各社の研究開発動向を解説頂くセミナーを開催した。

以下の企業がオンライン会場で40分程度のセミナーを行い、参加者数はのべ合計43名であった。

(参加企業・団体：参加数)

3/17(水)

- 日立金属㈱：14名
- 三菱マテリアル㈱：15名

3/18(木)

- 東邦チタニウム㈱：11名(午前5名、午後6名)
- トピー工業：4名

大会雑記

本来は東京大学駒場キャンパスでの春期講演大会開催であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年秋期講演大会に引き続きオンライン会議ツールZoomを利用したオンライン形式での開催となった。前回からの変更点として、ポスターセッションをZoom発表だけではなく、オンライン上でポスターを閲覧できるシステムを導入した。また、オンライン会議ツールRemoで交流室(談話室)を用意し、参加者同士の交流の場を設けた。Remoを使用し、初めてオンラインによる懇親会を行い、優秀ポスター賞の授賞発表を行った。受賞者はオンライン上のステージに登壇し、御手洗講演大会委員長から祝辞をもらった。初の試みではあったが、懇親会は参加者には大変好評であった。

2021年春期講演大会オンライン開催にあたり、座長、会場係の皆様、また参加者の皆様には事前のマニュアル確認や事前操作テストなど万全な準備を行いご参加くださり誠にありがとうございました。無事に開催できましたこと、衷心より厚くお礼申し上げます。

